

連載企画
『ちいさな企業の
底力を信じて』
Vol.07

青年部 OB 越智俊之参議院議員が行く

獣害対策商品「モンスターウルフ」を開発 自社ブランドで全国に販路を拡大

メディアでも注目を集めるオオカミ型野生動物撃退装置を開発した同社。下請け仕事だけでなく、自社商品による事業展開を成し遂げた道のりについて聞いた。

株式会社太田精器
代表取締役 太田裕治さん

工場内に並んだ「モンスターウルフ」。販売やレンタルは、太田さんらが設立した販売会社(株式会社ウルフ・カムイ)と全国各地の販売代理店が行っている

「脱・下請け」の志から 始まった挑戦

越智 近年、山間部などではシカやイノシシをはじめとした野生動物による農作物の被害などが深刻です。御社では、獣害対策に役立つ「モンスターウルフ」という装置を開発し、話題となっています。特徴を教えてください。

太田 オオカミの姿を模したロボットを屋外に設置し、赤外線センサーが野生動物の存在をキャッチ

するとLEDの光の点滅と威嚇音で追い払うという仕組みです。

越智 そもそも御社は機械部品の研磨加工が本業ですよね。

太田 弊社は1980年に父が創業した会社で、私は2代目です。家業に入った頃は、手作業で部品を組み立てる会社だったのですが、その技術を別の用途に生かそうと金型を磨くことから始めて、その後も機械加工の設備を整えていきました。

現在では大手企業を取引先に精

密機器の部品製造や研削・研磨加工を中心に手がけており、ナノレベルまでの精度を出せる技術を得意としています。

越智 大手企業との取引となると、以前は価格交渉が難しい場面もあったのではないのでしょうか。

太田 確かに以前は、こちらから「加工単価を上げてください」といった時代がありました。でも今は、国の指導などもあって、適正価格での取引がしやすくなったと感じています。

越智 私はこれまで価格転嫁が進む環境をつくろうと、中小受託取引適正化法の成立に力を尽くしてきました。効果が出ているようです。ただ、御社の場合は価格交渉だけでなく、新しい挑戦にも取り組まれたのですね。

太田 自社ブランド製品をもちたという私の夢が原点でした。

当社の事業は親会社からの仕事で成り立っていますが、私は20年前から「脱・下請け」を掲げて従業員に伝え続けてきました。それは部品加工の仕事をやめるということではなく、「自分たちで考えて前に進む気持ちをもって仕事をしよう」という意味です。もちろ

ん自社製品への憧れもありましたが、「脱・下請け」の象徴が、「モンスターウルフ」でした。

現場での効果実証を重ね 真似できない商品に

越智 なぜ獣害対策だったのですか。「モンスターウルフ」の開発の経緯を教えてください。

太田 2008年に環境問題がテーマの一つとなった北海道洞爺湖サミットが行われました。まずはこれをヒントに、まだ普及していなかったLEDの照明器具を開発したのです。しかし、すぐに大手



「モンスターウルフ」の説明を聞く越智議員。「50種類以上の威嚇音は大音量でランダムに流れ、得体の知れない何かがいると動物に知らせて撃退します」と太田さん。「モンスターウルフ」は2019年、「第8回ものづくり日本大賞」の「ものづくり地域貢献賞」(北海道経済産業局)を受賞



「モンスターウルフ」の特徴を映像とともに説明する太田さん。視察や取材も多い



01／登山やキャンプ時のクマ避けとして威嚇音を発する携帯型ぬいぐるみ「モンスターウルフミニ」も製品化 02／航空機のバードストライクを防ぐためワシの姿をした装置「イーグル」も開発。釧路空港で稼働中 03／「モンスターウルフ」をはじめとする同社製品に大きな関心を示す越智議員



が参入したので撤退。そんななか、テレビアニメの光の点滅が子どもの健康を害したニュースに触れ、深刻になっていった獣害対策にLEDの光を生かせないかと思いついたのです。

最初はLEDの光の点滅だけの製品をつくり、その後、大学教授の協力のもと威嚇音や光の色を工夫したり、オオカミの形にしたりして効果検証と改良を重ね、2016年に「モンスターウルフ」の生産を開始しました。

越智 製品開発の一方で、販売にも苦労されたのでは。

太田 オオカミを模したユニークな見た目から当初は効果を疑問視する声も多く、売れませんでした。そこで全国各地に赴いて営業し、まずは3ヵ月無料のお試しサービス

を3年間実施。すると、設置したお客様の多くが効果を実感して継続使用の意向を示し、購入やレンタルにつながりました。

越智 メディアにもよく紹介され、今やニュースや記事で知っている人も少なくないでしょう。

太田 おかげさまで知名度も上がりました。これまで約400台を出荷し、自治体や農協、農家などで使われています。返品やクレームは1件もありません。

最近ではクマによる人身被害の増加を受け、山間部の工事現場やゴルフ場で使われたり、群馬県では全国で初めてコンビニにも設置されました。

越智 有名になると、類似品も出てきませんか。

太田 生産開始から10年、ずっと効果検証に力を入れてきました。これまで類似品は存在しませんが、それは真似しようとしてもできないということだと思います。

越智 地道な効果検証をしっかりと積み重ねてきたからこそ、他社が真似できないノウハウとして強みになっているのですね。

製品開発には相応のコストがかかっていると思います。国の

株式会社太田精器

住所：北海道空知郡奈井江町奈井江 609

事業概要：精密部品の研磨加工など

電話：0125-65-2759

従業員数：48人（パート含む）

HP：<https://www.ohtaseiki.com>

株式会社ウルフ・カムイ（販売会社）
<https://www.wolfkamuy.com>



太田精器の工場。同社は過去に経済産業省「元気なモノ作り中小企業300社」にも選ばれた

社員のモチベーション向上にも貢献

越智 LED照明で悔しい思いを

施策では、試験研究費において法人税の控除が受けられる研究開発税制がありますので、機会があれば商工会に相談してください。

町工場の挑戦が 地域の誇りになる



屋外に設置されている「モンスターウルフ」。太陽光発電と充電バッテリーを使用し、屋外のどこにでも設置でき、電気柵に比べてメンテナンスの手間や維持管理のコストが少ないメリットもある



全国的にヒグマやツキノワグマによる被害が増えており、市街地への出没も問題となるなか、「モンスターウルフ」への関心や期待が高まっている

味わい、それでもあきらめずにその技術を生かして、自社ブランドの夢を現実させています。

「モンスターウルフ」が本業や従業員さんに与えた影響などがありますか。

太田 自社製品がメディアで紹介されて全国に浸透し、従業員も知り合いや家族から「あなたの会社がテレビに出ていたね」などと言われるようになり、モチベーションアップにつながっています。

越智 従業員さんの会社への帰属意識も高まりますし、採用にもつながりますね。

太田 最近では地域の名物にもな

りつつあります。企業が前向きな姿勢を見せることも、地域貢献につながると思っています。

「社長の道楽」といわれた事業に長年取り組み、ようやくです。

越智 奈井江町商工会の会長もされていますが、地域の課題や、国へのご要望を伺えますか。

太田 人手不足は深刻な課題です。北海道では千歳市に半導体メーカー・ラピダスの工場ができました。素晴らしいことですが、その磁力が強すぎて、地域の意欲ある若い人材がどんどんそちらに流れてしまふと、我々のような地域の中小企業は、ますます人を雇いにくくなってしまうのではないかと感じています。

越智 重要なお指摘です。しっかりと考えて政策に反映していきます。

今回は、小さな会社でもあきらめずに果敢にチャレンジしていくことで、成長につながることをあらためて教えていただきました。個々の会社が伸びれば、地域の経済も活性化します。挑戦する会社の取り組みを、私は全力で応援していきます。本日はありがとうございました。